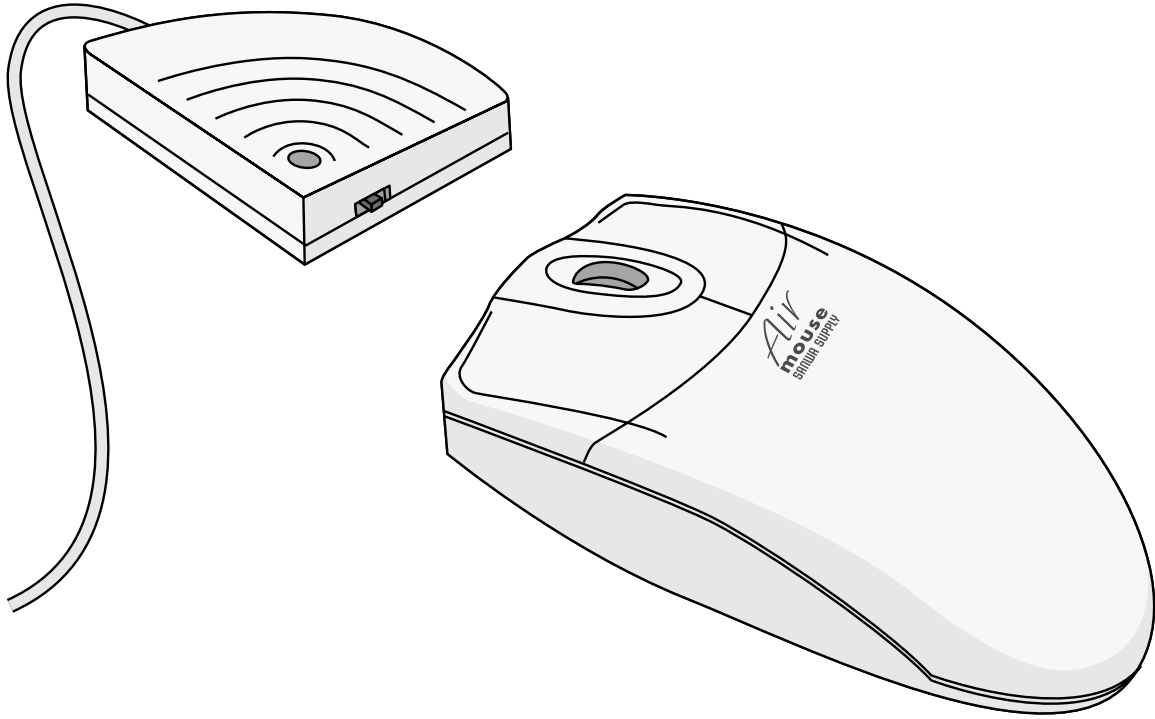




ワイヤレススクロールマウス(Wireless Scroll Mouse) 取扱説明書



MA-WL53PSS

ワイヤレススクロールマウス

最初に
ご確認
ください。

セッ
ト内
容

マウス本体	1台
レシーバー	1台
ドライバソフト(3.5")	1枚
取扱説明書	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

目次

- 1 警告
- 2 はじめに
- 3 ハードウェアのインストール
(対応機種、ワイヤレススクロールマウスの接続、ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際)
ドライバソフトのインストール
- 4 仕様・特長
 - 5 各ボタンの仕様、マウスソフトウェアの特長、ボタン等の設定、
 - 6 カーソル速度等の設定、Net Jump/ホイール等の設定、バージョンを表わします

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試してください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

はじめに

この度は、ワイヤレススクロールマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。

本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単にスクロールが行えるようになります。

またMicrosoft Office97やInternet Explorerをサポートしていますので、幅広いナビゲーションが可能となります。

ハードウェアのインストール

対応機種

ワイヤレススクロールマウスには、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。

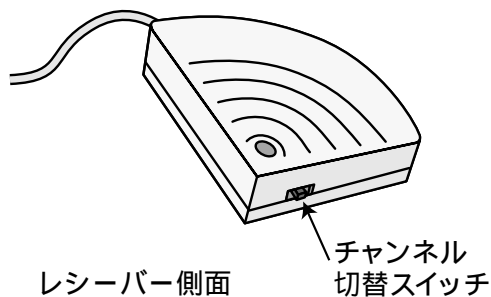
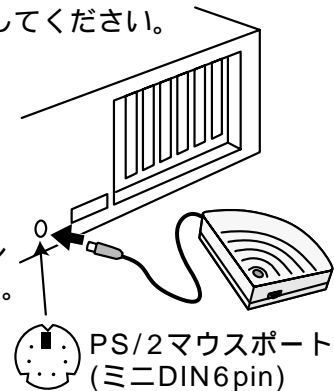
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXノートシリーズ、IBM PC、PS/2、及びThinkPadシリーズ 但しPS/2マウスポートを持つ機種。機種により対応できないものもあります。

OSはWindows Me、Windows 98SE/98、Windows 95、Windows 2000及び、Windows NT4.0SP3に対応。

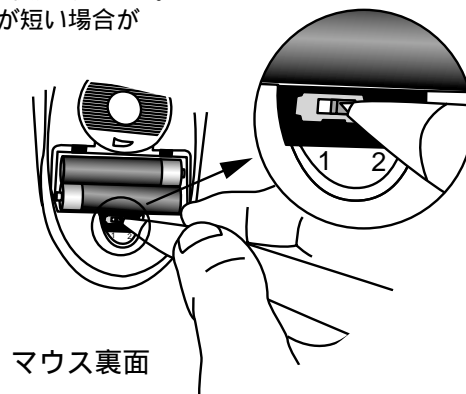
ワイヤレススクロールマウスの接続

1. コンピュータの電源を切ってください。
2. コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
3. コンピュータ背面のPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)にレシーバーを接続してください。
4. 接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。
5. レシーバー裏面にあるチャンネル切替スイッチをCH1もしくはCH2に設定してください。
6. ワイヤレススクロールマウスに単四電池を2本入れ、チャンネル切替スイッチをレシーバーと同じチャンネルに合わせてください。
7. コンピュータの電源を入れてください。

ポインティングデバイス内蔵のノートパソコンでご使用の際は、内蔵のポインティングデバイスをBIOSから切り離してご使用ください。付属の電池はテスト用のため、通常の電池に比べて寿命が短い場合があります。



レシーバー側面



マウス裏面

ハードウェアのインストール(続き)

ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

例)タッチパッドユーティリティ(Alps Glide point ,NX PAD ,Synaptics Touch Pad)の場合(SONY VAIOノート, NEC PC98-NXノートなど)

「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャー」「マウス」「Glidepoint」のプロパティを開く。

「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンを押す。

そのまま進み、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し次へ進む。

「デバイスドライバの更新ウィザード」が立ち上がったら「すべてのハードウェアを表示」を選択する。

製造元「Microsoft」、モデルを「Microsoft PS/2 Port Mouse」を選択する。

完了後、再起動し、「Notebook setup」でタッチパッドを使用しないように設定する。

外付けマウスを手順通りインストールしてください。

「マウスウェア」を内蔵している場合は、アプリケーションの追加と削除で「マウスウェア」を削除し、内蔵ポインティングデバイスが「標準PS/2マウス」ドライバで作動している状態でインストール作業を始めてください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。

通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

ドライバソフトのインストール

重要：インストール前に他のアプリケーションなどを外しておくことをおすすめします。

- 1)Windowsを起動させ、フロッピードライブに添付のドライバディスクを入れてください。
- 2)「スタート」から「ファイル名を指定して実行(R)」を選んでください。
- 3)名前(O):¥setup.exeと入力してください。(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)以下、メニューに従ってインストール作業をすすめてください。

i Wheel Works セットアップ

i Wheel Works セットアップ

言語: —— 次へ>を実行

ようこそ —— 次へ>を実行

インストール先の選択 —— 次へ>を実行

情報 —— 次へ>を実行

ファイルをコピーします。

完了

- はい、今すぐ再起動します。

ドライバディスクをフロッピードライブから取り出し —— 完了

Windows2000等で再起動後に「RF-マウス接続IDコード」の設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

仕様・特長

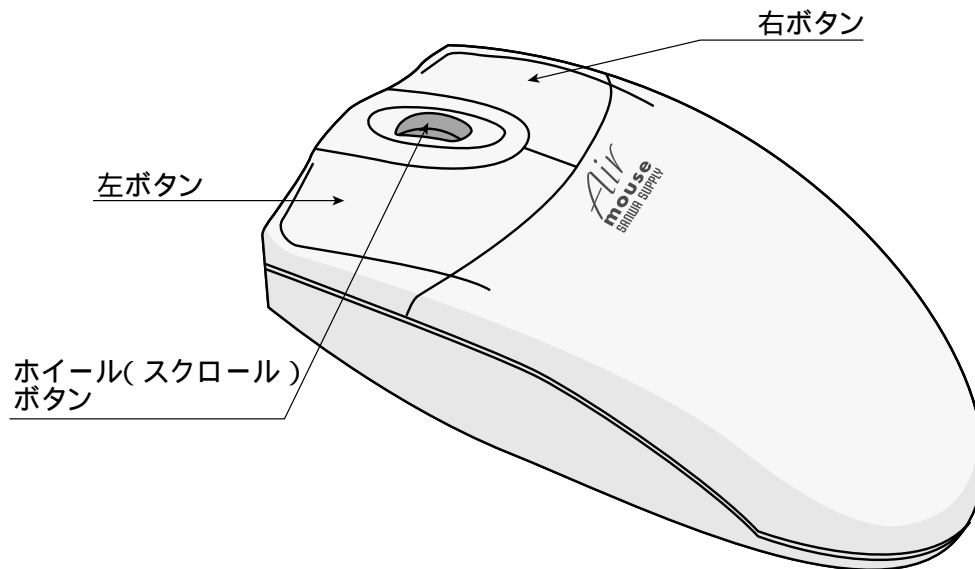
各ボタンの仕様

ホイール(スクロール): インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールする際に、このホイールを前後に回転させて使います。


ホイールボタン: この機能で、ホイールボタンを「Windowsキーボードファンクション」として割り当てる事ができます。ここで選択できる機能は「ウィンドウズのアイコン化/最大化」「ウィンドウズを閉じる」「スタートボタン」「ダブルクリック」「ドラッグロック」「ページアップ/ダウン」「次のウィンドウ」などです。ま例えば、ホイールボタンをボタン機能として割り当て、さらにそれをダブルクリック機能に設定することができます。

左ボタン: 左ボタンは一般的なマウスと同じ仕様です。例えば、クリック、ダブルクリックなど。

右ボタン: キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、この右ボタンに記憶させることができます。さらに、イーゼージャンプ、オートパン、ズームなども行えます。



マウスソフトウェアの特長

マウスソフトウェアのコントロールパネルの開き方は、タスクトレイに出ているマウスアイコン  をダブルクリックしてください。

仕様、特長（続き）

ボタン等の設定



カーソルの速度等の設定



仕様、特長（続き）

Net Jump/ホイール等の設定



Net Jump/Lucky Jump設定

Net Jump(ネットジャンプ)は、ウェブブラウザでよく使うコマンドを一つのグリッドにまとめています。Lucky Jump(ラッキージャンプ)は、ウィンドウ環境でよく使うコマンドを一つのグリッドにまとめています。

ボタン割り当て(ボタン等の設定)でNet Jump、Lucky Jumpを選択している場合に有効になります。

コマンドリストの中から割り付けたいコマンドを選択し、Net Jump、Lucky Jumpの割り付けたい場所にマウスアイコンを持っていき、左クリックすると割り付けできます。

バージョンを表わします

